

半月板損傷治療成績判定基準

術前・術後	病院名	記入者氏名	記入日
カルテ番号	患者氏名	手術名	
手術年月	性別	男・女	年齢
	性別	男・女	年齢

項目	症状	評価点数	
		右	左
長距離歩行疼痛(500m以上)	なし	20	20
	軽度	15	15
	中等度	10	10
	激痛(または長距離歩行不能)	0	0
階段昇降時疼痛及び動作	I : 疼痛なく不自由なし(注1)	20	20
	II : 疼痛あるが、昇降に不自由なし、または疼痛ないが不自由	15	15
	III : やや疼痛があり、昇降不自由	5	5
	IV : かなり疼痛があり、昇降不自由	0	0
膝伸展強制時疼痛(注2)	なし	20	20
	軽度	10	10
	中等度	5	5
	激痛	0	0
患肢着地(注3)	可	5	5
	困難または不可	0	0
McMurray test	軋轢音なし、疼痛なし	15	15
	軋轢音のみあり	10	10
	疼痛のみあり	5	5
	共にあり	0	0
大腿周径(膝蓋骨上10cm)	健肢と同じ	15	15
	健肢より1cm以上、3cm未満細い	5	5
	健肢より3cm以上細い	0	0
関節裂隙圧痛	なし	5	5
	あり	0	0
合計			

(注1) 「不自由」とは、昇降時手摺を使用するか、一歩一歩か、または手摺を使用し一歩一歩の場合を言う

(注2) 「伸展強制時痛」とは

被験者際だ最大伸展医にして仰臥位で横たわり、検者の片手で足部を支持し、もう一方の手で膝蓋骨上部または脛骨上端に徐々に圧迫力を加え伸展を強制する。膝(前面)に疼痛を訴える場合は陽性とする。

(注3) 「患肢着地」とは、被験者にその場跳びをさせ、何ら疼痛、問題なく患肢で着地できる場合を可、何らかの疼痛、困難を感じる場合を困難または不可とする。